

七ヶ宿町内各地で春のお祭りを開催

4月29日、横川地区で春のお祭りが開催されました。当日は天候にも恵まれ、大勢の参加者が御神輿おみこしを担いで横川地区内を練り歩きました。また、5月3日に開催された湯原と滑津地区のお祭りは、肌寒さを感じる中での催しとなりましたが、幸い天気が大きく崩れることもなく、御神輿おみこしを担いだ参加者の「わっしょいわっしょい」という元気な声が響き渡りました。



▲大人も子供も一緒に御神輿を引きました（横川）



▲地元の子どもたちによるソーラン節の披露（滑津）



▲子供御輿も元気に地区を回りました（湯原）



▲民謡民部保存会の皆さんによる大黒舞（湯原）

おみこし

御神輿を上下に揺らすのはなぜ？

御神輿は読んで字のごとく神様の輿こし、つまりは神様の乗り物です。神様ほどの偉い方が乗るものであれば、極力揺らさないよう静かに担ぐのが当たり前のような気もしますが、御神輿は大きなかけ声とともに上下に揺らして運びます。そこには“魂振り”と呼ばれ、神様の霊を揺り動かして活性化させるという意味合いが込められているそうです。

もちろんこれは一般的な例で、お祭りは地方によって様々な風習があり、地元では当たり前でもよそではちょっと変わっていると思われるものもあると思います。皆さんもどこかのお祭りに参加するときはその地方のちょっと変わった風習に溶け込んでみてはいかがでしょうか。